

平成22年12月27日

滝沢村長 柳 村 典 秀 殿

滝沢村補助金等審議会

会 長 齋 藤 俊 明

平成22年度実施補助金公募制度の審査について（中間答申）

本審議会は、平成22年7月6日付けで滝沢村長から諮問がありました「平成22年度実施補助金公募制度の審査について」のうち、個別申請補助金及び政策報告補助金に関し審査を行いましたので、別紙のとおり答申いたします。

平成 22 年度実施補助金公募制度の審査について

はじめに

本審議会は、平成 22 年 7 月 6 日付けで滝沢村長から諮問があった「平成 22 年度実施補助金公募制度の審査について」のうち、個別の申請書に基づいて行った審査結果を中間答申として答申するものである。

審査については、事業の申請書に基づき、予め本審議会委員が個々に評価を行ったのち、平成 22 年 10 月 19 日に合議による調整を図ったものである。

今回の中間答申においては、個別申請補助金及び政策報告補助金として申請又は報告を受けた事業について、全体としての総括的な講評を行い、審査結果を答申するものである。

1 個別申請補助金及び政策報告補助金について（総括）

平成 22 年度の個別申請補助金の公募は、平成 22 年 8 月 31 日に申請が締め切られ、10 件の申請があった。また、政策報告補助金は、平成 22 年度事業として 2 件の報告があった。それらについての審査が本審議会に委ねられたものである。

審査を行った際に見受けられた事項で、今後改善を要する事項は次のとおりである。

・申請時期について

いくつかの事業において、財団等の助成金を村を介して充当しているが、当該助成金の交付決定後に本審議会への申請が行われている。村の予算計上と補助事業の交付決定が先行し、本審議会に対しては事後報告になっているので、助成金の申請段階で公募申請を行うべきであり、村予算計上についても同様の取扱いを検討されたい。

2 個別申請補助金の審査方法及び審査結果について

審査は、別紙 1 の審査シートを用いて本審議会委員が個々に評価を行ったのち、合議による調整を図ったものである。申請事業の評価点数については、委員評価の平均である。

申請事業と評価点数との関係については、申請事業の公益性、村総合計画との関連性、事業の目的及び内容とその効果について審査を行った結果、本審議会としては、50 点以上の申請事業については、補助事業としての公益性、効果等が認められる事業であるとし、50 点未満の申請事業については、補助事業としての十分な公益性又は効果等が認められず、再度事業内容を見直し又は精査することが必要である。

各個別申請補助金の審査内容については、別紙 2 の一覧による。

3 政策報告補助金の審査方法及び審査結果について

政策報告補助金は前年度の補助金等審議会の審査を経た補助金が当該年度で予算計上されることとなっているが、平成 22 年度交付の政策報告補助金については、突発的事由或いは政策的な理由により前年度の審議会による審議を経ず急遽予算化された補助金があった

ため、平成 22 年 10 月 19 日の審議会で事後的な報告を受けたものである。

審査は、別紙 3 の審査シートを用いて本審議会委員が個々に評価を行ったのち、合議による調整を図ったものである。申請事業の評価点数については、委員評価の平均である。

報告事業と評価点数との関係については、政策報告補助金は、村政策判断に伴い実施されていることから、本審議会においては採択としたうえで、報告事業の公益性、村総合計画との関連性、事業の目的及び内容とその効果について審査を行った結果、本審議会としては、50 点以上の報告事業については、補助事業としての公益性、効果等が認められる事業であると結論付けるものである。50 点未満の報告事業については、政策的判断で実施されるものであるが、補助事業による効果が限られた分野又は特定の者に偏る傾向があるので、補助事業の継続実施にあたっては留意が必要である。なお、村独自の上乘せない国・県の補助制度に伴う補助事業については略式審査とするものである。

各政策報告補助金の審査内容については、別紙 4 の一覧による。

平成22年度公募補助金審査シート(個別申請用)

審査シート番号	
審査綴青紙記載番号	

評価点数	
合計	100

委員意見欄

審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料
A 補助金交付基準に基づく公益性の判断	1	公益	20	補助金交付基準による公益の分類 ※該当する欄に「○」 ※個別申請補助金は、公益性による差が生じにくいことから、公益性の配点を政策補助金より低めに設定している。
	2	共益的公益	15	
	3	私益的公益	5	
	4	公益性が希薄なもの	0	

A分類
20

審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料
B 補助事業の適格性	1	補助事業の目的及び内容は適格か	20	※事業目的が明確で、目的に実現のための事業内容が適格かつ明確であるか。 ※時代に沿った事業であり、既に役割を終えているものではないか。 ※誰もがわかる積算内容であるか。積算根拠は妥当か。 ※食料費や慶弔費に補助金が充当されていないか。
	2	時代のニーズに合致した事業か	5	
	3	補助金の積算の内容は明確か	5	
	4	補助金の充当経費は適切か※	5	

B分類
35

平成22年度公募補助金審査シート(個別申請用)

C	審査内容	No.	審査項目		評価	審査・検証資料		
			政策	重点政策・基本政策				
滝沢村らしさ	1	総合計画	重点政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)7~9)		15	8	0	総合計画の重点政策又は基本政策に合致しているか否か。何れか該当する方を評価。総合計画の基本政策と補助金の目的及び事業内容が合致しているかを判断。 ※どちらにも該当しない場合は、基本背策の「0」に該当
			基本政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)1~6)		10	5	0	
	2	事業の特色	・住民協働を促す事業である。		10	5	0	
			・滝沢村の要素(自然、環境、景観、文化、歴史等)を全国に向けて発信する又は可能性がある。	滝沢村の既存の要素の活用事業	10	5	0	
		滝沢村の新価値創造事業		10	5	0		

C分類
35

D	審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料

D分類
0

E	審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料	
						補助事業者の自立

E分類
10

平成22年度公募補助金【個別申請補助金】一覧

No.	申請事業名	申請者名	事業の目的(申請書から抜粋)	事業の内容(申請書から抜粋)	申請補助金額 (単位:千円)	審議会における意見
50～59点(事業名称順)						
1	大沢まるごと体験ツアー開催事業	大沢地区まちづくり推進委員会	大沢地域の文化・伝統を守り伝えていくとともに、地域活性化と交流化人口の増加に寄与することを目的としている。	「滝沢地域デザイン」における大沢地域のまちづくり方針である「地域の歴史的な財産、伝統芸能やふるさとの小川や山を大切に次世代に伝えよう」を具現化するための起爆剤とすべく、地域、行政、関係団体が一体となって本イベントを開催し、地域活性化につなげることを目的として開催する。	830	財団等の財源を村通しで充当しているが、交付決定後に村の予算に計上しているため、審議会においては事後承認のタイミングになってしまう。財団に申請する段階で公募申請すべきである。また、実態は別として、個別の申請書を見る限りでは単発の補助金に依存して地域活動が自主性をもって計画的に行われているように見えないので、補助事業が地域活動の全体像のどこに位置付けられるのか、可視化が必要でないか。
2	上の山団地集会所改修工事	上の山団地会	上の山団地会の活動拠点として利用している上の山団地集会所の機能及び性能の劣化防止と完全性を維持するため。	木造平屋建て 137.25㎡ 延べ屋根面積181.3㎡ 改修内容 屋根葺き替え工事(既存屋根材解体及び撤去含む)	740	同様の施設は村内に数多く存在するため、世帯数などの補助基準を設け、補助対象施設の線引きをして計画的に整備を図るべきである。ある施設では地区内使用でも使用料を徴収し、維持管理に充てている。それ自体はよいが、会計処理上は単に繰越金になっていることから、通常の繰越とは別に目的を明確にして積み立てるよう、他地域も含め指導すべき。また、事業効果を利用者で判断するのであれば、当該データの収集が必要であることに留意されたい。
3	川前太鼓備品整備事業	川前自治会	和太鼓という伝統芸能を継承する活動を通じて、青少年の健全育成、地域内の融和、コミュニティ活動のさらなる活性化につながると考えている。	現在、太鼓13台で活動しているが、川前太鼓の会員数約30名に対し、太鼓が不足しており、活動に支障をきたしている状況にある。そのため、今回の補助事業により太鼓6台を整備することで、会員の6割以上が太鼓奏者となって、より迫力のある演奏と活動のさらなる進展を目指す。	2,500	財団等の財源を村通しで充当しているが、交付決定後に村の予算に計上しているため、審議会においては事後承認のタイミングになってしまう。財団に申請する段階で公募申請すべきである。また、実態は別として、個別の申請書を見る限りでは単発の補助金に依存して地域活動が自主性をもって計画的に行われているように見えないので、補助事業が地域活動の全体像のどこに位置付けられるのか、可視化が必要でないか。
4	自治公民館整備事業 菓子駅前公民館(旧東日本ハウス班公民館)	東日本ハウス班町内会	諸会議や様々な会合の時、トイレの悪臭がする。昨年公民館の前を滝沢村公共下水道本管が通ったことも受け、今回、町内会の皆さんの要望としても、公民館のトイレの水洗化を図りたい。	公民館の道路(下水道本管)から公民館までの配管を繋ぎ、男性・女性の便器を取り替えることにより、トイレからの悪臭を改善する。 工事内容 配管工事、便器の交換、便槽撤去・処分、その他水洗用器具の交換	362	同様の施設は村内に数多く存在するため、世帯数などの補助基準を設け、補助対象施設の線引きをして計画的に整備を図るべきである。ある施設では地区内使用でも使用料を徴収し、維持管理に充てている。それ自体はよいが、会計処理上は単に繰越金になっていることから、通常の繰越とは別に目的を明確にして積み立てるよう、他地域も含め指導すべき。また、事業効果を利用者で判断するのであれば、当該データの収集が必要であることに留意されたい。
5	自治公民館整備事業 ニューシビックセンター	自治公民館整備事業 ニューシビックセンター	現集会所(ニューシビックセンター)の機能維持を図ることを目的とする。	地域活動の展開拠点とし、地域住民の諸活動の場として大きな役割を果たしている現集会所を、今後共に安全な施設として維持していくため、屋根の補修塗装工事を行うものである。 建物の概要 木造平屋建て 344.48㎡ 延べ屋根面積440㎡ 補修内容 高圧水洗い、錆止め塗装、シリコン塗装	703	同様の施設は村内に数多く存在するため、世帯数などの補助基準を設け、補助対象施設の線引きをして計画的に整備を図るべきである。ある施設では地区内使用でも使用料を徴収し、維持管理に充てている。それ自体はよいが、会計処理上は単に繰越金になっていることから、通常の繰越とは別に目的を明確にして積み立てるよう、他地域も含め指導すべき。また、事業効果を利用者で判断するのであれば、当該データの収集が必要であることに留意されたい。
6	滝沢山車まつり備品整備事業	滝沢山車まつり実行委員会	山車の製作、運行を通じて、菓子・南菓子・長根地域の住民の親睦・交流・融和を図るとともに、地域の賑わいの創出に寄与することを目的とする。	長胴太鼓1台、舞台照明器具一式、山車小屋シート1張、祭りステージ1基を購入し、より迫力のある山車の運行と充実したステージ発表のために供するものである。	2,300	財団等の財源を村通しで充当しているが、交付決定後に村の予算に計上しているため、審議会においては事後承認のタイミングになってしまう。財団に申請する段階で公募申請すべきである。また、実態は別として、個別の申請書を見る限りでは単発の補助金に依存して地域活動が自主性をもって計画的に行われているように見えないので、補助事業が地域活動の全体像のどこに位置付けられるのか、可視化が必要でないか。

平成22年度公募補助金【個別申請補助金】一覧

No.	申請事業名	申請者名	事業の目的(申請書から抜粋)	事業の内容(申請書から抜粋)	申請補助金額 (単位:千円)	審議会における意見
7	滝沢村土地改良事業(一本木頭首工)	一本木土地改良区	本土地改良施設の整備補修により、施設の適正な維持管理を実現し、かんがい排水施設の機能の持続的な発揮と、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。また、洪水調整の機能を有する施設であり、公共・公益的機能の発揮に寄与する。	堰上げゲート、取水口ゲート・・・ギアボックス及びスピンドル交換、塗装一式	1,800	今後、国の予算が減るとともに米価が落ち込んでいくと、受益者負担を賄いきれず、計画どおりに事業ができない恐れがあり、先を見据えた中長期の対応を図る必要がある。 また、各土地改良区において5か年の年度計画を策定しており、計画の承認は土地改良事業団体連合会の専門指導員が行っている。判定基準があるのだろうが、申請書の範囲では明確でないことから、次回より単価等の積算資料の添付を求める。
8	滝沢村土地改良事業(ウカイ水門地区)	越前堰土地改良区	農村環境や社会経済状況の変容、施設の老朽化に伴い管理者の維持管理負担は増加傾向にあり、維持管理負担の軽減と土地改良施設の機能保全に資するため本事業を実施する。	水門巻上機、門扉付替 2基 浚渫工事 101㎡ 張ブロック工事 20㎡ 小水門塗装補修 1式	1,580	今後、国の予算が減るとともに米価が落ち込んでいくと、受益者負担を賄いきれず、計画どおりに事業ができない恐れがあり、先を見据えた中長期の対応を図る必要がある。 また、各土地改良区において5か年の年度計画を策定しており、計画の承認は土地改良事業団体連合会の専門指導員が行っている。判定基準があるのだろうが、申請書の範囲では明確でないことから、次回より単価等の積算資料の添付を求める。
9	滝沢村土地改良事業(下鶴飼地区)	越前堰土地改良区	農村環境や社会経済状況の変容、施設の老朽化に伴い管理者の維持管理負担は増加傾向にあり、維持管理負担の軽減と土地改良施設の機能保全に資するため本事業を実施する。	水路更新 水路式600×600型 L=62.2m 水路側壁補修工事 h=0.8m L=14.0m	500	今後、国の予算が減るとともに米価が落ち込んでいくと、受益者負担を賄いきれず、計画どおりに事業ができない恐れがあり、先を見据えた中長期の対応を図る必要がある。 また、各土地改良区において5か年の年度計画を策定しており、計画の承認は土地改良事業団体連合会の専門指導員が行っている。判定基準があるのだろうが、申請書の範囲では明確でないことから、次回より単価等の積算資料の添付を求める。
10	滝沢村土地改良事業(牧野林地地区)	岩手山麓南部土地改良区	用水路の通水機能を維持し、用水の有効利用の円滑化と組合員の負担軽減を図る。また、地域住民に対する多面的機能の発揮をより促進させる。	鉄筋コンクリート水路400×400型 L=200.0m	580	今後、国の予算が減るとともに米価が落ち込んでいくと、受益者負担を賄いきれず、計画どおりに事業ができない恐れがあり、先を見据えた中長期の対応を図る必要がある。 また、各土地改良区において5か年の年度計画を策定しており、計画の承認は土地改良事業団体連合会の専門指導員が行っている。判定基準があるのだろうが、申請書の範囲では明確でないことから、次回より単価等の積算資料の添付を求める。

平成22年度公募補助金審査シート(政策報告用)

審査シート番号	
審査綴青紙記載番号	

評価点数
合計 100

委員意見欄

A	審査内容	No.	審査項目	評価		審査・検証資料	A分類 30
	補助金交付基準に基づく公益性の判断	1	公益	30	20		
2	共益的公益	15	10				
3	私益的公益	5					
4	公益性が希薄なもの	0					

B	審査内容	No.	審査項目	評価			審査・検証資料	B分類 35
	補助事業の適格性	1	補助事業の目的及び内容は適格か	25	15	0		
2		時代のニーズに合致した事業か	5	3	0	※時代に沿った事業であり、既に役割を終えているものではないか。		
3		補助金の積算の内容は明確か	5	3	0	※誰もがわかる積算内容であるか。積算根拠は妥当か。		
4		政策報告補助金への分類は妥当であるか。 ※国・県の補助制度による義務負担である。 ※不特定多数を対象とした補助制度である。 ※村が明確な補助事業内容を定め、事業の実施のみを委ねている。 ※災害等による不測の事態への対応である。				問題が認められる場合は、右欄に記入		

平成22年度公募補助金審査シート(政策報告用)

審査内容	No.	審査項目		評価	審査・検証資料		
		政策	重点政策・基本政策				
C 滝沢村らしさ	1	総合計画	重点政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)7~9)	15	8	0	総合計画の重点政策又は基本政策に合致しているか否か。何れか該当する方を評価。総合計画の基本政策と補助金の目的及び事業内容が合致しているかを判断。 ※どちらにも該当しない場合は、基本施策の「0」に該当
			基本政策に合致している。(滝沢村総合計画後期基本計画(施策要綱)1~6)	10	5	0	
	2	事業の特色	・住民協働を促す事業である。	10	5	0	
			・滝沢村の要素(自然、環境、景観、文化、歴史等)を全国に向けて発信する又は可能性がある。	滝沢村の既存の要素の活用事業	10	5	
			滝沢村の新価値創造事業	10	5	0	

C分類
35

審査内容	No.	審査項目	評価	審査・検証資料
D 補助事業の効果の捉え方	1	事業効果の考え方	※事業効果の把握の仕方等について、意見がある場合に右欄に記入	

D分類
0

平成22年度公募補助金【政策報告補助金】一覧

No.	審査事業名	報告所管課名	事業の目的(報告書又は要綱等から抜粋)	事業の内容(報告書又は要綱等から抜粋)	報告補助金額(単位:千円)	審議会における意見
50点～59点以上(事業名称順)						
1	滝沢村学連携活性化事業	企画総務課	村内高等教育機関が持つ専門性を生かし、村が直面する課題の解決へ取り組み、または潜在的課題の掘り起こしを行い、もって、第5次滝沢村総合計画に掲げる将来像の実現を図ります。	<p>■たきざわGP 村内の高等教育機関に所属する教員等が、村が設定するテーマ(第5次滝沢村総合計画に関するもの)について、調査研究を企画し、村が抱える課題の解決を図ります。 また、高等教育機関が持つ知的財産・人的資源と滝沢村のフィールド・人的資源を結び付け、互いに高めあいます。</p> <p>■夢プロジェクト 村内の高等教育機関に所属する学生等が、村が設定するテーマ(第5次滝沢村総合計画に関するもの)を基に、地域のまちづくりに資するプロジェクトを企画し、活動します。 また、この取り組みを通じて、学生生活の活性化を図るとともに、地域と学生の交流、社会参加・社会貢献活動を進めます。</p>	2,104	制度についての報告となっているが、タイミングとして予算措置後の報告であるため、個々の採択事業についての詳しい記載が望ましかった。テーマを設定して大学の知恵を活用するのはいいが、若干丸投げのような印象もあり補助金か委託か判別が付き難く、整理が必要である。今年度は応募12件のうち6件採択との事だが、今後の採択にあたっては目利きをしっかりとすべき。また、成果指標も詳細にするとともに、短期間の事業とし、一つひとつの成果を積上げて全体が見えるように工夫するべきである。
2	滝沢村土地改良補助事業(災害復旧)	農林課	農村環境や社会経済状況の変容、施設の老朽化に伴い管理者の維持管理負担は増加傾向にあり、維持管理負担の軽減と土地改良施設の機能保全に資するため本事業を実施する。	台風4号による被災箇所への復旧 水路溝畔復旧 9箇所	2,737	今後、国の予算が減るとともに米価が落ち込んでいくと、受益者負担を賄いきれず、計画どおりに事業ができない恐れがあり、先を見据えた中長期の対応を図る必要がある。また、各土地改良区において5か年の年度計画を策定しており、計画の承認は土地改良事業団体連合会の専門指導員が行っている。判定基準があるのだろうが、申請書の範囲では明確でないことから、次回より単価等の積算資料の添付を求める。